

「山・海・島」体験活動

7月31日（水）から4日間、5年生が「山・海・島」体験活動に行きました。今年度のテーマは「考動力」。先のこと、人のこと、環境のことを考えながら動くことを目標としました。家族と離れて生活する4日間、おまけに班の中に豊松小学校の友達はいない。不安もあったようですが、4人それぞれができることを考えながらがんばった4日間でした。大きな事故やけがもなく、たくさんの経験をすることができました。

1日目 ~結団式・仲間づくりゲーム~



はじめは硬かった表情も徐々にほぐれてきて、途中からは関わり合う声や笑い声も聞こえてきました。友達の様子を見て参加できるように気づかうなど姿も見られました。不安と緊張の中に少しずつ楽しさが生まれていった1日目でした。

2日目~カッター活動・オリエンテーリング~

約20人が重い「かい」を動かして、重さ1トンのカッターを進めていきます。気温35℃を超える暑さの中、一生懸命声を揃え心を揃える子ども達の表情からは疲れも見えましたが、たくましさも感じました。



班ごとに分かれ、地図を頼りに、山の中に設置されている看板を探します。限られた時間の中、どの看板から探すのか、いつどこで休憩をするのか、全てが班の自由です。時計を見たり地図を見たり班で話し合ったりしながら、子ども達はたくさんの看板を見つけて行きました。



3日目 ~野外炊飯・キャンプファイヤー~

班ごとに、薪を割って火を起す係、炊き込みご飯と豚汁を作る係に分かれ、炊事スタート！どの班もよく考えてよく動き、着々と調理は進んでいきました。自分達で作ったご飯はレストランの食事に負けないくらいおいしかったそうです。そして片付けでも力を合わせ、予定よりも早く終わることができました。



最後の夜、みんなでキャンプファイヤーをしました。歌って踊って出し物をして、楽しい夜になりました。最後には、1人1つのろうそくを持ち、炎の輪を見つめながらこの体験活動を振り返りました。

4日目 ~焼き板・退所式・解散式~

最終日、4日間で最も心に残ったことを焼き板に表しました。それぞれが4日間をふりかえり、思い出を言葉や絵で表しました。そして、長かったようであっという間だった4日間は終わりました。



4日間の共通の目標だった「考動力」。いつもとは違う環境の中で、自分で考えながら過ごしている4人の姿を見ることができ、たくましくたのもしく思いました。そして、大切なのは、4日間で学んだことを普段の生活の中で生かすことだと思います。学校でもこの4日間を要所要所で振り返りながら、子どもたちのさらなる成長につなげていきたいと思ひます。